



祝 平成23年 蕪 崎 市 成 人 式

主催／蕪崎市・蕪崎市教育委員会・蕪崎市選挙管理委員会 主管／蕪崎市成人式実行委員会



成人式 (H23.1.9 東京エレクトロン蕪崎文化ホール)

議会だより

にらさき



予算審査の状況 P2
ここが聞きたい(一般質問) P6
委員会活動報告 P11

第147号

2011年2月

12月定例会は、

2日から20日までの19日間の会期で開催しました。

条例改正1件、補正予算6件、議案8件、人事案件3件、などすべて可決しました。

また、一般質問は、8議員が登壇し市政について市長の考えをただしました。

【補正予算】

財務常任委員会で審査された後、本会議（20日）で委員長報告が行われ可決されました。

● 一般会計補正予算（第3号）

- 補正額192,164千円を追加し、総額14,684,105千円とした。主なもの、市民交流センター整備事業費128,378千円（内訳：新図書館システム経費53,820千円、備品購入経費7,458千円、一般備品2,500千円、電気関係備品4,558千円など）
- 介護基盤緊急整備等臨時特例基金事業4,630千円、障害者自立支援事業12,789千円、
- 子ども医療費助成事業2,380千円
- 保育所運営事業8,979千円
- 予防接種事業費6,933千円
- 中山間地域耕作放棄地対策事業5,269千円、松くい虫防除事業2,296千円、
- 地籍管理事業3,000千円、市道整備事業25,976千円、市立公園等管理事業3,045千円
- 消防施設整備事業9,359千円
- 災害対策事業9,500千円
- 民俗資料館管理運営事業1,211千円
- ドリームサッカー開催事業637千円などであります。

採決では「異議あり」のため起立により採決、起立多数のため原案のとおり可決。

● 韮崎市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

- 補正額432千円を減額し、総額3,025,065千円とした。
- 一般被保険者療養給付費34,475千円、一般保険者療養費3,131千円、
- 一般保険者高額療養費5,500千円、高額医療費共同事業医療費拠出金11,356千円

採決では「異議あり」のため起立により採決、起立多数のため原案のとおり可決。

● 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

- 補正額 2,830 千円を減額し、総額 239,476 千円とした。
 - 職員給与費 1,292 千円の減額など。
- 採決では「異議あり」のため起立により採決、起立多数のため原案のとおり可決。

● 下水道事業特別会計補正予算（第1号）

- 補正額 8,430 千円を減額し、総額 1,163,707 千円とした。
 - 職員給与費 9,318 千円の減額など。
- 採決の結果、原案のとおり可決。

● 介護保険特別会計補正予算（第1号）

- 補正額 41,159 千円を追加し、総額 1,847,226 千円とした。
 - 居宅介護サービス給付費 19,122 千円、施設介護サービス給付費 13,890 千円など要介護認定者の増加に伴い給付の増加が見込まれるため。
- 採決の結果、原案のとおり可決。

● 国民健康保険葦崎市立病院事業会計補正予算（第2号）

- 収益的収入及び支出の補正
病院事業収益及び費用を 43,556 千円追加し、2,237,495 千円とする。
- 年間患者数入院 1,570 人の増及び外来 2,673 人の増、介護 511 人の減によるもの。
一日平均患者数入院 4 人の増、外来 11 人の増、介護 1 人の減によるもの。
- 資本的収入及び支出の補正
資本的収入を 4,029 千円を追加し、101,998 千円とする。
資本的支出を 7,258 千円を追加し、224,823 千円とする。

【条例改正】

◆ 蕪崎市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

子ども医療費の助成対象年齢を拡大し、更なる子育て家庭への支援の充実を図る。
具体的には、満12歳から15歳までに改める。

(平成23年4月1日から)

【指定管理者の指定】

◆ 蕪崎市民交流センター及び蕪崎市民交流センター駐車場の指定管理者の指定

管理者となる団体：内藤・KBSグループ 株式会社内藤 代表取締役 内藤 久夫
期 間：平成23年9月1日から平成28年3月31日まで

◆ 蕪崎市子育て支援センターの指定管理者の指定

管理者となる団体：NPO子育て支援センター ちびっこはうす 理事長 宮沢 由佳
期 間：平成23年9月1日から平成28年3月31日まで

◆ 蕪崎市地域情報発信センターの指定管理者の指定

管理者となる団体：有限会社六曜舎 代表取締役 小野 曜
期 間：平成23年9月1日から平成28年3月31日まで

◆ 蕪崎市立図書館の指定管理者の指定

管理者となる団体：株式会社図書館流通センター 代表取締役 谷一 文子
期 間：平成23年9月1日から平成28年3月31日まで

◆ 蕪崎市老人福祉センターの指定管理者の指定

管理者となる団体：社会福祉法人 蕪崎市社会福祉協議会 会長 樽林 一孝
期 間：平成23年4月1日から平成28年3月31日まで

◆ 韮崎市在宅老人デイサービスセンターの指定管理者の指定

管理者となる団体：社会福祉法人 韮崎市社会福祉協議会 会長 樽林 一孝
期 間：平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

◆ 韮崎市文化ホールの指定管理者の指定

管理者となる団体：財団法人 武田の里文化振興協会 理事長 林 紘子
期 間：平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

【任命及び選任】

◆ 韮崎市監査委員の選任

韮崎市監査委員 金丸 博（藤井町）

◆ 韮崎市教育委員の任命

韮崎市教育委員 小川 龍馬（中田町）

◆ 韮崎市固定資産評価審査委員会委員の選任

韮崎市固定資産評価審査委員会委員 嶋津 榮男（穴山町）

お詫びと訂正について

議会だより12月号に掲載しました内容の「用語及び数値」について次のように訂正いたします。

2 ページの財政判断比率を
健全化判断比率 に訂正。

3 ページの財政調整基金積立金
6 8, 2 4 1 千円を
2 7 8, 6 8 2 千円 に訂正。

3 ページの
国民健康保険特別会計補正予算額
5 0, 8 8 5 千円を
5 0, 7 9 4 千円 に訂正。

以上のとおりお詫びして
訂正いたします。

請願

採
択

☆教育予算を拡充し、
教育の機会均等及
び水準の維持向上
を図るための請願

（提出者）
進歩と革新をめざす
韮崎の会代表世話人
渡辺 吉基
他 3 団体

☆子ども医療費無料
化を中学3年生ま
で引き上げること
を求める請願

（提出者）
山梨県蕪崎支部
新日本婦人の会
山梨県蕪崎支部
他 3 団体

不
採
択

☆障害者自立支援法
の応益負担をやめ
るための請願

（提出者）
山梨県商工団体連合
会
山梨県商工団体連合
会
婦人部協議会長
古屋 洋子
他 1 名

☆所得税法第56条廃
止意見書の提出を
求める請願

（提出者）
山梨県商工団体連合
会
山梨県商工団体連合
会
婦人部協議会長
古屋 洋子
他 1 名

一般質問

にらさきの まちづくり ここが聞きたい

8人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。
詳細な内容は、[韮崎市ホームページ⇒議会⇒会議録](#)で見ることができます。

市民バスの料金軽減・デマンド交通の実証実験について



藤嶋 英毅 議員
[韮政クラブ]

議員 現代生活の基本要素は、「衣食住」とか「教育、医療、福祉、交通」と言われるように交通の重要性が指摘されております。高齢化社会のもと、国民生活の質の向上に、地域の公共交通機関の整備・充実が必要であり、地域公共交通の切捨ては許されません。市長は、市長選の政策に「市民バスの料金軽減とデマンドバスの実証実験」を掲げておりますが、具体的に何をお示しください。

市長 明年度より、高齢者の利用料金を一回100円とし、また、3ヶ月の定期バスの導入を行わない、日々、高齢者が安心して公共施設や買物に出かけられるよう勤めます。また、全ての市民を対象に土日祝日料金を100円とし、町なか賑

その他質問

- ◆市営総合運動場・体館の整備について
- ◆水辺公園の整備について
- ◆豚舎の悪臭対策について
- ◆道路整備について
- ◆シカ害対策について
- ◆西中生徒通学路の安全確保策について

農業振興(コメ品質低下の係わる対策)について

わいの創出につながります。デマンド交通については、明年度から、高齢化率等をみながらモデル地区を指定し実証実験を行ないます。

議員 「食味ランキング」で日本一の「梨北米」も今年は品質低下をきたしております。10年度米については、JA梨北、韮崎市内支店の出荷米は、今夏の異常高温による影響で、出荷米に占める一等米の割合が昨年の87.6%から23.3%と大幅に減少し、それは、そのまま生産農家の減収となりまして、今年の品質低下は、異常気象による災害との考えに立ち米価格の上乗せ支援が必要と考えます。また、規格外の米は、米粉などにして処理することになります。米粉を学校給食に活用するなど協力が必要です。市長の所見を伺います。

住宅リフォーム助成制度の導入について

市長 米の品質低下は、全国的傾向にあると伺っております。本年度より実施の戸別所得補償事業による差額の補償状況を注視しながら、著しく差異がある時は検討します。米粉については、既に学校給食には、地元産米を使用しており利用拡大が図られるよう協力体制を強化してまいります。

議員 市民がその所有する住宅リフォーム発注する場合、市が一定の額を補助する制度で、全国で175の自治体で取り組んでおり、地域活性化に貢献しております。本市でも導入を検討するに値しますが、市長の所見を伺います。

市長 今実施している「プレミアムふれ愛商品券」などの活用により地域経済の活性化に寄与していると考えております。



興石 賢一 議員
[共伸クラブ]

その他質問

- ◆耕作放棄地対策について
- ◆サッカーのまちづくりについて
- ◆定住人口増加対策について
- ◆インフラ整備について

画を立ててまいり
ます。

エコパークたつお
かについで

副議員 この施設は、昭和44年龍岡町に設置された焼却場であり、現在の施設は平成14年より平成29年までの協定が結ばれ、現在に至っております。今後の計画をお示しください。

副市長 協定期限終了後の計画につきましては、今後次世代の機種及び設置場所等について、地元及び構成3市との協議をかさねる。

副議員 現在の進捗状況・計画などお聞かせください。

副福田副市長 もう7年しかないと認識していません。現在使用しているガス化溶解炉には、いろいろな問題がありました。こういった機種の選定を先進地の状況を拝見し選定していくと、現在の建物を含めた施設の効率

的な生かし方を早急に構成3市と検討しなければと認識しております。

御勅使工業団地近
隣の環境について

副議員 現在操業している企業の環境対策また、苦情の発生についてお示しください。

副市長 企業の公害対策については、種別・業種もことなるため、それぞれ法令に基づき対応しています。また、過去には水質・悪臭等の苦情が寄せられました。実地調査等適切な指導を行っております。

副議員 依然として改善されていないところもあるが、市として巡視をしておりますか。

副神谷市民課長 地域の安全、安心を守る、特に環境づくりについては、市にかせられた使命でありますので、巡回等の計

横内市長二期目の
政治姿勢について

副議員 地方重視や地方主権が叫ばれておりますが、厳しい財政の中、今後の市政運営を、どのように進めていくかお示しください。

副市長 公平公正、健全な行財政運営によるまちづくりが基本であると考えており、とりわけ本市のような、小さな基礎自治体では、市民と企業、行政との強い絆が必要不可欠であると考えます。

副議員 夢と感動のテーマシティを造るといふことは、何か大きなプロジェクトも必要ではないかと考えますが、伺います。

副市長 1期目からの継続事業は何件もあります。また、まだ具体的にではなく、神山町を仮称ではあるが「屋根のない歴史博物館」と言うふうな形にしたい考えは持っております。



神田 明弘 議員
[日本共産党荏崎市議団]

その他質問

- ◆横内市長の選挙公約について
- ◆市民交流センターの図書館「ふるさと偉人資料館」について
- ◆戦争遺跡、市内の地下壕について

国保税の引き下げ
について

副議員 国保の加入者の圧倒的多数が低所得者であり、払えない重い国保税の負担に苦しんでいる。国保税の引き下げを行う財源として、2億円を超える基金の活用また、一般会計からの法定外繰入これらの措置で引き下げが可能と思うが、見解は。

副市長 基金については、国保税の引き下げに充てるのではなく、税率等の引き上げを回避するための財源として確保し、弾力的に運用してまいります。一般会計からの繰り入れにつきましては、給付と負担の原則を基に、基準に基づいて繰り入れをしてまいりますので、国保税の引き下げのため繰入金は考えていません。

住宅リフォーム助
成制度の実施につ
いて

副議員 一部の地域経済の活性化には、寄与されプレミアム商品券などの活用により、一定の需要の掘り起こし効果の成果また、見通しについていかがか。

副市長 プレミアムふれ愛商品券の住宅関連への活用が、実施額の半数程度を占めており、一定の地域経済の活性化に寄与したものと考えており、さらに商工会から継続要望もありますので、これを活用し市民へのPRに努めてまいります。

林業・木材産業の
振興について

副議員 木材需要の拡大策として市の公共事業に県産材を積極的に使う数値目標計画を立てるべき

です。また、甲斐の家対策については、関係機関と連携を検討すべきです。また、市の民有林、集約化促進及びペレットストーブへの援助を検討すべきです。

副市長 公共施設は、規模や用途により、求められる仕様が異なるため数値目標は難しい。なお、本年度建設中の穂坂自然公園休憩施設については、ほぼ100%の使用を予定している。次に、甲斐の家事業については、県産材の利用拡大に向け、木材協会を初め連携を検討してまいります。次に、民有林の集約化された森林への有利な支援、次に、ペレットストーブへの援助につきましては、本年度より循環型社会構築のため、エコハウス設備設置補助金として、補助を行っております。



小林恵理子 議員
[日本共産党新潟市議団]

ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン接種の助成について

副議員 国会で2010年度補正予算が成立した。子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンを対象に基金(22年度、23年度)を県に設置し、市の事業に対し国2分の1・市2分の1割合で助成するもの。国のこうした補正予算を活用し、今年度からの実施を求めます。

副市長 国の平成22年度補正予算、これを踏まえ対応します。

副中嶋保健課長 実施の時期については、県の説明また市民への周知・医師会との協議によります。

妊婦健診の自己負担費の助成について

その他質問

- ◆安心できる高齢者の生活を支える医療・介護について
- ◆農業政策について
- ◆小中学校・公民館へのエアコン設置について
- ◆葦崎文化ホールのリニアフリー化推進について

副議員 市長は妊婦健診の助成拡大とも述べていますが、実施時期はいつか。

副市長 現在、国において成人T細胞白血病とクラジミア抗原検査をすることが検討されており、市としては、これら動向を踏まえ検討してまいります。

新しい子育て支援センターの運営について

副議員 今までの支援センターは、ベテラン保育士が配置され、交流の場の提供、イベントの開催、相談業務などの事業が展開されてきた。市内の各保育所や児童センターの様子も職員が把握し、しっかりと連携をとれる体制で運営すべき。また、管理者の自主事業の「一時預かり」が「親の就業支援」

であれば認可保育所の最低基準が必要。市民交流センター内では困難。

副市長 運営につきましても、専門性、生産性、サービス内容に優れる指定管理を選択したところ。一時預かり事業は、保護者の利便性を考慮した運営を主体とするものです。

米価下落、異常気象による減収対策について

副議員 夏の猛暑の影響とみられる、新米の品質低下により大幅な減収に対して、葦崎市の救済策について。

副市長 米の品質低下は、全国的傾向にあり、本年より実施の戸別所得補償で、価格低下に伴う差額の補償状況を注視し検討してまいります。



小林 伸吉 議員
[公明党]

高齢者が安心して暮らせる街づくりについて「高齢者優先居住住宅」設置について

副議員 市営住宅のうち現在、高齢者や身障者仕様になっている「若尾住宅」の部屋数と入居の際に高齢者また身障者優先住宅の定めがありますか。また、各市営住宅の高齢化率を示してください。

副市長 市営若尾住宅につきましても、70戸のうち14戸が高齢者対応住宅とし、現在14戸すべて利用されており。また、他の市営住宅につきましても、高齢者及び障害者専用住宅の位置づけはされておらず、今後の高齢化社会に向け、検討課題としております。高齢化率は、一ツ谷住宅47%・水神住宅50%・北下条住宅12%・祖母石住宅10%・中條住宅5%・清哲住宅8%・若尾住宅14%です。

副議員 最近の集中豪雨の特徴は、局地的に短時間に100ミリを超える

その他質問

- ◆雇用対策について
- ◆市道 藤井9号線(蟹坂)の整備について

「買い物弱者への支援について」

副議員 市内の買い物弱者への支援を社会的課題としてとらえ対応することが必要と考えます。安全・安心のまちづくりを目指す本市の取り組みと考えをお示しください。

副市長 まちなかミニスーパーの宅配サービスにつきましても、現在希望者の登録を呼びかけていると聞き及んでいます。また、社会的課題としての対応につきましても、買い物システムや交通手段等の課題について、今後、官民協働で研究、検討いたします。

ゲリラ豪雨等の災害に対する市の考え「ゲリラ豪雨等に対する取り組みについて」

副議員 最近の集中豪雨の特徴は、局地的に短時間に100ミリを超える

猛烈な雨が鉄砲水やはんらんを引き起こす都市型災害が発生している。市の河川行政、治水整備は、1時間の降水量何ミリの基準で設計されていますか。

副市長 1時間当たりの降水量については、河川が50年確立で54ミリ、排水路が10年確立で41ミリを基準としています。基準の見直しについては、昨年6月改正されました。

「土砂災害に対する取り組みについて」

副議員 土砂災害防止法による土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定と土砂災害防止法の概要など市民への周知の取り組みと進捗状況を示してください。

副市長 平成20年度に現地基礎調査・平成21年度に地区説明会実施・県におきまして平成23年度に危険箇所地域指定がされることになっております。また、ハード対策として、土砂災害ハザードマップにつきましても、市内全域が地域指定を受けた後に作成いたしました。



森本由美子 議員
[公明党]

その他質問

- ◆読書環境の整備
- ◆妊婦検診の完全無料化について

消費者行政の活性化について

副議員 被害拡大防止のためには、事故情報の公開と速やかな注意喚起が重要であります。速やかな情報収集と消費者に対する的確な対応は、最前線で相談対応している相談窓口によるところが大であります。本市での相談窓口の設置状況は。

副市長 現在、商工観光課内に設置し、職員が兼務して県民生活センターと連動している。

副議員 21〜23年度までの山梨県消費者行政活性化基金の活用計画は。

副市長 高齢者向け講演会などを実施したところであり、明年度は専門の消費者相談員の設置や啓発パンフレットの作成を計画している。

ごみの減量化とリサイクルの推進について

副議員 平成20年度のリサイクル率は全国平均で20・3%であります。本市では16・7%であり3・6%低い状況でした。21年度はさらに下がりました。21年度はさらに下がっています。市長の掲げられているごみ減量化とリサイクル率を10%アップさせるための具体的な施策は。

副市長 資源物として認識の薄いミックス紙の収集を強化し、また資源物収集の回数を増やす等により、排出環境を整えていく。

副市長 燃えるごみの中の約15%がミックス紙であり、生ごみの80%は水分であると言われていて、そこを徹底していきたい。

各種ワクチン（宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌）の接種について

副議員 今年度、完全無料を受けられた子宮頸がん予防ワクチン接種の本市での対象者に対する接種人数と接種率は。

副市長 第1回目の接種においては小学校6年生では157人中145人が接種し、接種率は92%、中学3年生では168人中160人が接種し、接種率は95%で県内13市の中では大変高い接種率であった。

副議員 3ワクチン接種の明年度の計画は。

副市長 明年度より定期接種化への方向性が示されたものと理解し、準備段階へスムーズに移行できるように努力する。

副市長 子宮頸がんワクチンについては、国の方針では中学1年生から高校1年生というところだが、今年度の高校1年生についても接種ができる方向で検討していく。



矢崎 六彦 議員
[市清クラブ]

その他質問

- ◆初めての議会報告会を終え市民からの行政に対しての要望事項。
- ◆ノロウィルス・インフルエンザ対策の現況。
- ◆我が市のゴミ減量化策（分別収集の強化策）
- ◆観光行政について
- ◆教育行政について

市長職2期目をスタートさせるに当たっての心構えについて

副議員 2期目の市制執行に当たってはしっかりと腰を据え、市民と約束したマニフェストを焦らずにじっくりと執行なすることが第1であります。また、ビジョンを市民に示し、実施してほしいのが市民の願いであり市長の心構えを伺います。

平成23年度予算編成について

副議員 景気の低迷、東京エレクトロン等企業の流失から来る税収の減、国・県よりの補助金などの制約されており、2期目のマニフェスト実現のための新規事業、また予算編成に当たって最も重要視されている、点また新年度も予算化するプレミアム商品券の規模をお示しく下さい。

副市長 11月7日に執行されました市長選挙につきまして、市民の一定の評価をいただいたものと受けとめております。市民の皆様とお約束したマニフェストに基づき、公平公正、協働、健全な行政運営によるまちづくりの基本姿勢を堅持し各種施策を実行してまいります。

副市長 新規事業として、中学3年生までの医療費窓口無料化・市民バス高齢者低料金化及びホリデー料金の導入・保育園の1日保育・韮崎宿の懐かしさ漂うのれんのある町並みづくりへの着手・人工芝グラウンド整備事業など庁内関係課と検討、協議を行なっております。予算の編成については、限られた財源の効果的な配分はもとより、市民の

穴山駅の駐輪場の新設について

副議員 穴山地区の市民の要望事項の穴山駅駐輪場の新設について、その後の進捗状況は。

副市長 地元からの要望を受け、12月1日付でJR東日本八王子支社に計画書を提出いたしました。今後JR側との協議をへて設置条件が示されますが、内容等を精査しながら、設置に向けた早期の合意に努めてまいります。



清水 正雄 議員
[市民クラブ]

その他質問

- ◆高齢者の市民バス及び大村美術館の料金無料化について
- ◆塩川サイクリングロードの区間延長について
- ◆葦崎小学校通学路に歩道ラインを整備することについて

成功しているところは、明確にビジョンを打ち出し、観光に焦点を当てていると思います。本市の状況をみると、国立公園、県立公園もある。また、農産物もある。磨けば光るような観光資源もある。こういうところに、焦点を当てて葦崎というまちを知ってもらおう。そこから始めないといろいろな施策も生じてこないとおもいます。市長の見解は。

元気な町づくり基本政策について

副議長 横内市長の夢と感動のテーマシティを提唱した、元気なまちづくり、実現のための具体的な基本政策を示してください。

副市長 基本的な考え方の一つに、元気で活力のあるまちづくりを掲げ、商工業、農林業、観光の分野を中心に展開してまいりました。今後はトップセールスによる優良企業誘致、観音山公園の整備などを積極的に進め、また、市民交流センター並びに穂坂自然公園との有機的な連携を図り、元気なまちづくりに向け努力してまいります。

市政の課題への取り組みについて

副議長 元気な街づくりのため、現実を直視して課題を克服しなければなりませんと考えます。1点目は人口の減少の問題

2点目は農業後継者と耕作放棄地の問題3点目は中心市街地の活性化の問題など有効な対策を講じる必要があると思います。お示しください。

副市長 一点目今期取得する定住促進住宅や空き家バンク事業による定住者の確保や市外からの定住促進持ち家助成事業の創設、民間活力を利用した交流人口の増加を図り、将来目標人口の達成をめざす。二点目耕作放棄地を利用し農業従事者として市内に定住していただく新規就農者支援事業の推進など、受け入れ態勢の強化に努めます。三点目まちなか活性化計画に基づき、空き店舗対策事業を始めとする各種施策を実施また、商工会に中心市街地活性化推進委員会を設置し商工会との連携によるまちなか活性化事業を推進してまいります。

副議長 元気なまちにしたいという自治体は全国ほとんどだと言ってもいいくらい多いわけです。

副市長 観光も含めて交流人口の増加ということから、元気なまちづくりにつながると理解しています。日帰りの観光客に1泊していただけるような宿泊施設等も経済が活発化し、元気のある観光のまちが出来るかと予測します。

副議長 観光でのメリックトは、宿泊、飲食、交通機関・農業等が振興され活性化が図られると考えますが、見解は。

副市長 観光については、市長みずからトップセールスを行ない、葦崎の観光資源と、はとバスとタイアップをしている。今後も観光業者、観光農園の方、商工業者の方々と連携し集客に努めてまいります。

これまでの議会改革（議会活性化）の取り組み

葦崎市議会では、すでに議会改革に取り組み、数々の改革を進めて参りました。「住民目線の議会像」開かれた議会を目指して

一般質問

- 一般質問の持ち時間は1人60分×会派の人数時間としました。
- 関連質問は、同一会派3人までとする。ただし、1回の質問は5分以内としました。
- 一問一答方式を導入しました。
- 新たに質問席を設け、執行部に向かって質問ができる対面方式としました。
- 再質問も同様に、質問席の隣で一問一答方式にて行います。
- 一般質問通告期限は、定例会開会日翌日の正午までとしました。

インターネット配信

- 本会議の開催をインターネットによりライブ中継しております。
- 庁舎ロビーでは、ライブ中継が見られます。

政務調査費

- 1人月額20,000円を10,000円に減額しました。
- 収支報告書には領収書を添付することになっています。

財務常任委員会の設置

- 予算・決算のみ特別委員会を設けていましたが、補正予算も含め新たに財務常任委員会を設け、審議することになりました。
- 審議の様子を市役所庁舎内でライブ中継しております。

常任委員会での傍聴

- 開かれた議会を目指すため、同時開催の解消を図り各常任委員会での傍聴も可能にしました。
- 常任委員会委員への重複所属が認められませんでした。
- 請願者に対し、請願の説明を求めました。

議員定数

- 葦崎市議会の議員定数を、S 46・10（30人から24人）、S 62・10（24人から22人）、H 15・10（22人から20人）に減じ、更に今回から、H 23・10（20人から18人）になりました。

議長交際費の公表

- 議長交際費は毎月ホームページにて公表しています。

会議録の公表

- 本会議の会議録は、定例会開催後2ヶ月以内にホームページにて公表しています。

議会報告の開催

- 議会基本条例を目指して、昨年より市内5ブロックに分けて議会報告会を開催しました。これからは、開かれた議会とし1年1回報報告会を開催し市民とのコンセンサスを図ってまいります。

委 員 会 活 動 報 告

総務教育常任委員会

〔12月定例会会期中の委員会〕

《請願審査》

◎ 普天間基地の無条件撤去を求める請願
 ↓ 採決の結果、継続審査と決定

〔主な意見〕

- ・ 個人的には、無条件撤去という問題には疑問がある。
- ・ 日本国とアメリカ政府の問題であり協議していかねければならない。
- ・ 無条件で撤去せれば収まる問題ではないか。
- ・ 特に北朝鮮、中国の問題などで移設がいいのか考える。

◎ 教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願

↓ 採決の結果採択と決しました。

《その他審査内容》

- 各課長から、現状報告と概要説明を求め、質疑を行った。
- ・ 人事管理について
 - ・ 入札について
 - ・ 市有財産の有効利用と管理について
 - ・ 総合防災対策の調査、研究について
 - ・ 情報公開について、個人情報保護制度について
 - ・ 男女共同参画社会づくりについて
 - ・ 工事中の安全管理、施工管理について
 - ・ 生涯学習について

市民生活常任委員会

〔12月定例会会期中の委員会〕

《請願審査》

◎ 障害者自立支援の応益負担をやめることの請願

〔主な意見〕

- ・ 改正案で24年4月1日までに「応益負担」を原則とすることが決まっている。
- ・ （不採択賛成の意見）

・ 改正案では「応益負担」の制度が温存されている。（採択賛成の意見）

◎ 所得税法第56条廃止意見書の提出を求める請願

〔主な意見〕

- ・ 青色申告制度があるので、それを利用すべきである。（不採択賛成の意見）
- ・ 青と白とで控除に差別があることに矛盾がある。（採択賛成の意見）

↓ いずれも不採択。

◎ 子ども医療費無料化を中学3年生まで引き上げることを求める請願

↓ 採択

〔主な意見〕

・ 医療費無料化の引き上げが決定している。

《審査内容》

- 各課長から、現状報告と概要説明を求め、質疑を行った。
- ・ 生活環境について
 - ・ 健康保健事業推進について
 - ・ 新型インフルエンザ対策について
 - ・ 高齢者保健福祉事業並びに介護保険事業推進について
 - ・ 少子化子育て支援について
 - ・ 市税について
 - ・ 病院の運営について
 - ・ 静心療の運営について
- 《現地調査（閉会中）》
 所管する施設の現状と課題について
- ・ 市立病院
 - ・ 保険福祉センター
 - ・ 市民課
 - ・ 福祉事務所



葦崎市立病院内視察 H23. 2. 18

産業建設常任委員会

〔12月定例会会期中の委員会〕

《請願審査》

◎ 環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）に参加しないことの見解書
 ↓ 継続審査

〔主な意見〕

- ・ 国が審議している最中であるのでもう少し研究したい。
- ・ 農家に打撃もあるが経済を考えると農業政策をしっかりと安定したものをつくつた中で考えていかねばならない。国がどうしたいのかでてこない。

《審査内容》

- 各課長から、現状報告と概要説明を求め、質疑を行った。
- ・ 農業の振興について
 - ・ 農業用道路、水路の整備について
 - ・ 有害鳥獣対策について
 - ・ 産業の振興と雇用の促進について
 - ・ 観光事業について
 - ・ 中心市街地の状況について
 - ・ 農工団地造成について
 - ・ 下水道工事死亡事故について
 - ・ 都市計画について
- 《現地調査（閉会中）》
- ・ 下水道課 下水道配置箇所視察
 - ・ 観光課 観光看板視察
 - ・ 農林課 穂坂自然公園
- など



穂坂自然公園工事現場 H23. 2. 14



研修レポート 行政視察

■ 議会運営委員会



2月1日 茨城県潮来市議会
開かれた議会活動をテーマに研修を行いました。また、議会改革の取り組みなどについての、質問が交わされました。

■ 山梨県市議会議長会議員合同研修

2月10日、県内の市議会議員合同研修会が、南アルプス市の桃源文化会館で開催され、本市の議員多数出席しました。

講演：「二元代表性の現状と行方
(議会改革のために)」

講師：山梨学院大学法学部教授 西寺 雅也氏

同日午後、山梨県自治会館の講堂

講演：「どうなる？ 今後の日本政治」

講師：テレビ朝日コメンテーター 川村 晃司氏

■ 会派研修 (平成22年度)

■ 荏政クラブ 5議員

平成22年11月10日～12日 (3日間)

三沢市 ●商業街区の振興に関すること
(中心市街地区域内を除く)

十和田市 ●中心市街地活性化事務について

平成23年2月7日～9日 (3日間)

いの町 ●デマンド交通について

■ 荏和クラブ 3議員

平成22年8月2日～4日 (3日間)

稚内市 ●都市再生プロジェクト事業について

■ 市清クラブ・公明党 4議員

平成22年11月10日～12日 (3日間)

水俣市 ●環境モデル都市づくり

●ゴミの分別収集について

出水市 ●読書活動日本一の街づくり事業

●ツルの飛来地について

小林市 ●ゴミの減量化への取り組みの現状と課題

●生ゴミの分別収集と堆肥化について

●高齢者・障害者ふれあい収集について

■ 共伸クラブ 4議員

平成23年2月7日～9日 (3日間)

三次市 ●議会改革について

安芸高田市 ●校庭の芝生化について

編集後記

新しい年を迎え、早や2ヶ月が経とうとしております。国内では、企業の減益や雇用の悪化などにより、大変厳しい社会経済情勢となつております。
山梨市においても、来年度も、厳しい財政事情となることが見込まれております。
このような難局を迎えるにあたり、議会といたしましては、議会本来の役割を果たし、議員個々が議員のなすべきことを再認識し、

日々の議会活動に取り組んでまいりたいと考えております。

市議会議長 嶋津 鈴子
副委員長 横森 宏尹
委員 秋山 英毅
藤嶋 泉
森本 美子
石井 錦一
望月 正澄

- 3月 3日 開会、諸報告、市長所信表明
- 14日 一般質問
- 15日 一般質問
- 16日 議案審議、委員会
- 17日 財務常任委員会
- 18日 財務常任委員会
- 22日 委員会
- 24日 議案審議、委員長報告、閉会

※上記日程は定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。

※定例会(委員会)は、どなたでも傍聴できますので、是非、傍聴にいらして下さい。(委員会を傍聴する場合には事前に申し出てください。)

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

3月定例会日程